

白川郷バスターミナル利用開始!



10月1日より、白川郷バスターミナルの利用が始まりました。
さっそくバスを利用する観光客が列になって並んでいました。

CONTENTS

白川村南部地区文化会館が 仮オープンします	2
平成27年度白川村決算報告	4・5
白川郷学園コミスクだより	6・7
すこやかだより	10



白川村南部地区文化会館が仮オープンします！

旧平瀬小学校校舎の改修工事が無事終了し「白川村南部地区文化会館」として11月1日（火）から利用可能になります。

旧平瀬小学校は平成23年3月に廃校、その後旧学校下検討委員会により活用方針の検討が行われ、生涯学習や福祉センターの一部機能を備えた複合施設として生まれ変わることとなりました。昨年からの改修工事にはいり、先月末、無事に工事を完了いたしました。

今までカルチャーセンターで実施していた住民皆様の取り組みや、福祉センターで行われていた事業などは「白川村南部地区文化会館」で今までどおり実施することができます。また、児童公園やグラウンドゴルフ場利用の皆様向けに、外部から直接ご利用いただけるトイレも整備いたしました。

ただし、施設の備品整備や管理人の配置までに時間がかかりますので、来年3月までは、仮オープン、4月からは管理人等を配置し正式オープンということになります。来年3月までの仮オープン中でも、カルチャーセンターと同様に、平日昼間（午前9時～午後5時）は平瀬保育園、平日夜間（午後5時～午後10時）及び土日祝祭日は大松美枝子さん（平瀬／喫茶おまつ）にてカギを借りて施設を利用することができます。また施設利用の予約方法もカルチャーセンターと同様に、教育委員会にてご予約いただけます。

地域の皆様が気軽集える施設として活発にご活用いただきますとともに、旧平瀬小学校同様、皆様に愛していただき、大切にご利用いただければ幸いです。

（担当：観光振興課、教育委員会、村民課）



正面玄関

外壁塗装や玄関タイルなど新しくなりました。
お体の不自由な方にもやさしい
スロープ付きのエントランスに！

中央ホール

ステージの拡張、照明の増設など、
各種イベントの開催が可能なホールに！



調理室

老朽したガス調理器等の設備更新を行う一方で、
既存の大釜を残し、災害時の炊き出しにも
対応できる調理場に！



義務教育学校の「なかみ」①

～ 生き方教育 「白川びと学」 ～

小中学校（高等学校）では、子どもたちが将来の夢や希望を抱き、具体的な目標をかかげ、それに向かって柔軟かつたくましく対応する心や力を培う「キャリア教育」を進めています。これは、「職業体験活動」「進路指導」はもちろん、児童会・生徒会活動や委員会活動、学校行事、授業中のグループ活動等々、あらゆる場面で行われています。

義務教育学校では、白川村ならではの「特色ある教育」の一つとして、『生き方教育「白川びと学」』に取り組んでいきたいと考えています。これは、白川村に生きる人々の姿（熱い思い）を通して、子どもたちが、ふるさと白川村に夢と誇りを持ち、将来の自分の生き方や村への関わり方を考える「ひとりだち」した「一流の白川びと」につながります。

① 「体験活動」を通して、「ひとりだち」に必要な力をつける

（一）自分のよさや仲間のよさに気付き、協力しながら自分の仕事を最後までやる

小学一～四年生は、子どもたちが「自分のよさに気付く」「仲間を認める」といった力を付ける時期です。さらに、家庭でのお手伝いや学校での係活動を任されるようになり、そこで、子どもたちにも、体験活動を通して様々な人と関わる力、自分のよさを活かす力を付けていきます。例えば、「白川村探検」から村のよさやそこに生きる人々を発見します。「さつまいも作り」等の作業から仲間と協力し仕事に最後まで取り組みます。
（二）苦手なことや初めてのことに積極的に挑戦し、自分の役割と責任を果たす
小学校五年生～中学一年生は、これまでに付けた力を活

かして、苦手なことや嫌なことから逃げず、チャレンジする「積極性」や「忍耐力」を付けていく時期です。さらに、自分の気持ちをコントロールしようとする力もついてきます。

例えば、「委員会活動」等では、仲間と共に学校を支えていく責任ある役割を担います。「修学旅行」「白川研修」等、日常の環境を飛び出し、新しいことに挑戦することで、新たな自分を発見します。

（三）高い志や意欲をもち、村への貢献や自分の目標の実現に向けて努力する
中学二～三年生は、壮大な夢や目標に向かって、課題を見つけ、具体的に「生活面」や「学習面」でどう取り組むのか、考え、行動する力を付けていきます。例えば、「職場体験」では、働くことや仕事について考えるよい機会になり、様々な人との関わりも含めて、貴重な「学び」の場

になります。「海外研修」では、これまで身に付けてきた力（人と関わる力、自分や仲間を活かす力、課題に挑戦する力等）を試す場です。そして、自分や仲間、ふるさとを見つめなおすきっかけになります。こうした体験活動を通して、白川村や自分を知り、そこから課題を見つけ、よりよい村づくり、自分づくりを目指して努力していく力を付けていきます。

② 「白川びと」にふれ、将来の自分の生き方や村への関わり方を考える

先月号で紹介した「学校運営協議会」のマンパワーは、「生き方教育（白川びと学）」を進める力になります。昨年



職場体験の様子（トヨタ自然学校にて）

度より、協議会は「白川びと」の生の姿や声を子どもたちに伝えるプログラムを計画し、実施しています。（この様子は、これまでのコミスタだよりで紹介されています。）こうした「白川びと（本物）」を観る体験は、子どもたちに「白川びとの凄さ」を感じさせるだけでなく、「人としての生き方」「白川びととしての志」や「ふるさとへの思い」を考えるよい機会になります。

義務教育学校では、独自にカリキュラムを編成できる利点と地域の英知（人々の力）を活かして、白川村を題材とした、白川村ならではのキャリア教育を、「生き方教育（白川びと学）」として展開します。今後、これまでの活動を活かし、結び付け、充実させていくと共に、集会や学級活動を利用した「白川びと講話（仮称）」や白川びとの生き方や歴史を題材にした「道徳資料の活用や作成」等、色々なアイデアを検討していきたいと考えています。

次回は、「義務教育学校の「なかみ」② ～英語学習～」について紹介します。

平成
27年度

白川村決算報告

9月30日、村議会第3回定例会において、平成27年度一般会計・特別会計の決算が認定されましたので、その概要をお知らせします。

村は第6次総合計画に基づいた美しい村づくりを推進してきましたが、平成27年度は総合計画の中間期にあたり、後期のスタートとして村民の生活環境の向上や、安心安全かつ豊かな暮らしの向上に資する施策を実施してきたところです。一般会計の歳入決算額は、対前年度比3億322万円増額の36億7,670万円となり、特別会計の歳入合計を合わせた村の歳入総額は、48億624万円となりました。一般会計の歳出決算額は、対前年度比8,324万円増額の32億8,676万円となり、特別会計の合計と合わせた村の歳出総額は、43億4,014万円となりました。歳入歳出ともに前年度と比べ増額となりました。

実質収支額は、一般会計の歳入歳出差し引き額3億8,993万円から、翌年度へ繰り越すための一般財源4,901万円を引いた3億4,091万円となりました。

一般会計の歳入のうち、最も大きなものは「地方交付税」の12億2,763万円で、歳入全体の3分の1を占めます。次に大きなものは「村税」の7億7,060万円で、歳入全体のおよそ5分の1の財源となっています。

次に一般会計で実施した主な事業等についてご報告します。27年度の投資的経費のうち最も大きな物としては、平成26年からの継続事業で行っている旧遠山家住宅修理事業が1億1,047万円で、その他にも荻町バスターミナル整備事業7,822万円や社会資本整備総合交付金事業9,970万円などの支出がありました。

特別会計にあっては、公共下水道特別会計において白川クリーンセンターの長寿命化計画に基づく改修事業1億511万円が主な事業となっています。

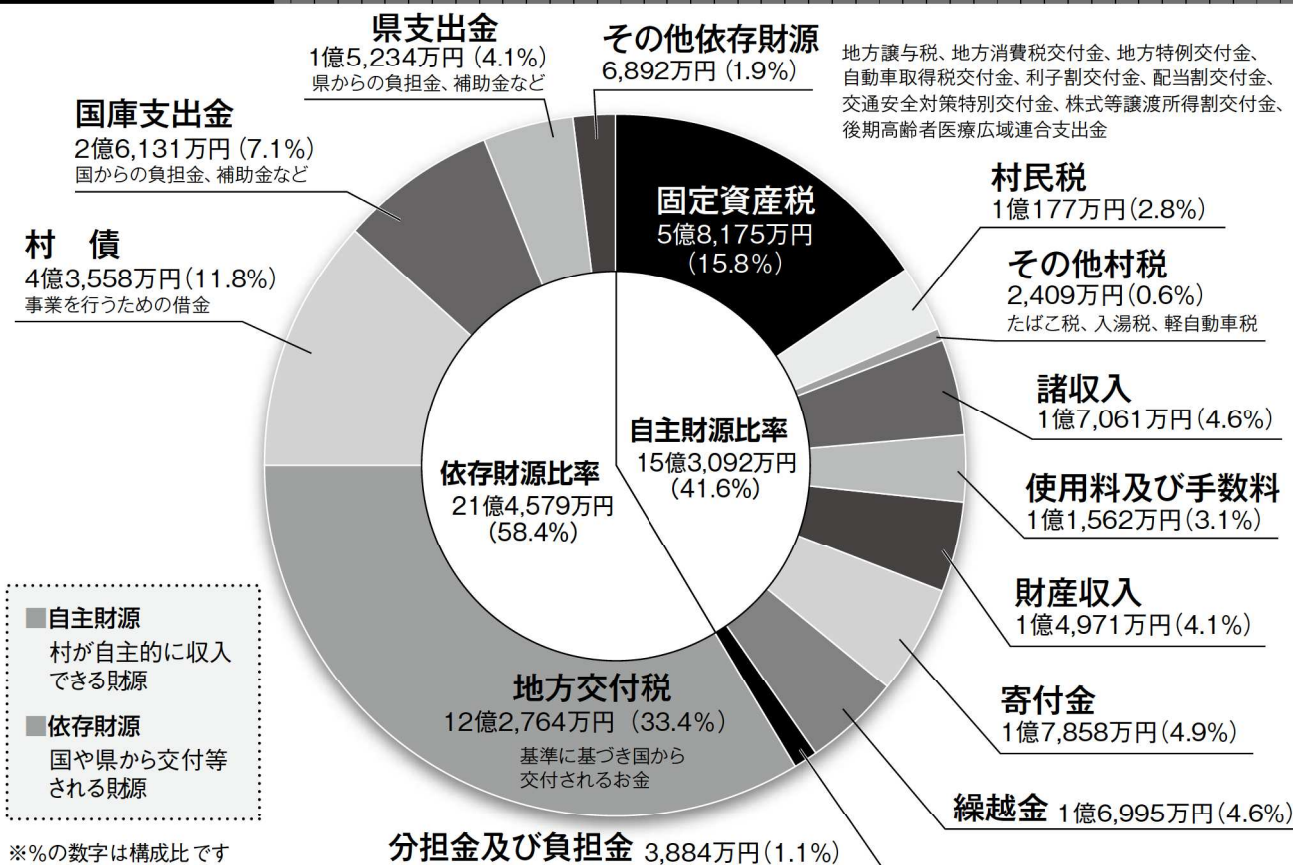
決算に係る主要な施策の成果については、白川村ホームページに詳しく掲載していますのでご覧ください。

(※記事中の金額は万円未満切捨て表示です)

一般会計

歳入

総額36億7,670万円



会計別歳入歳出決算額・村債残高一覧

会 計		歳 入	歳 出	年度末村債残高
一般会計		36億7,670万円	32億8,677万円	32億5,238万円
特 別 会 計	国保事業会計	2億7,611万円	2億5,745万円	0万円
	国保直診会計	9,880万円	9,261万円	8,054万円
	簡易水道会計	2億1,642万円	2億1,510万円	2億6,089万円
	温泉開発会計	8,409万円	8,373万円	4,130万円
	白弓スキー場会計	1,791万円	1,532万円	0万円
	公共下水道会計	2億 800万円	1億8,302万円	2億1,338万円
	介護サービス会計	281万円	55万円	0万円
	介護保険(事業勘定)	1億9,734万円	1億7,795万円	0万円
	後期高齢者医療	2,807万円	2,764万円	0万円
	特別会計合計	11億2,955万円	10億5,337万円	5億9,611万円
全会計合計		48億 625万円	43億4,014万円	38億4,849万円

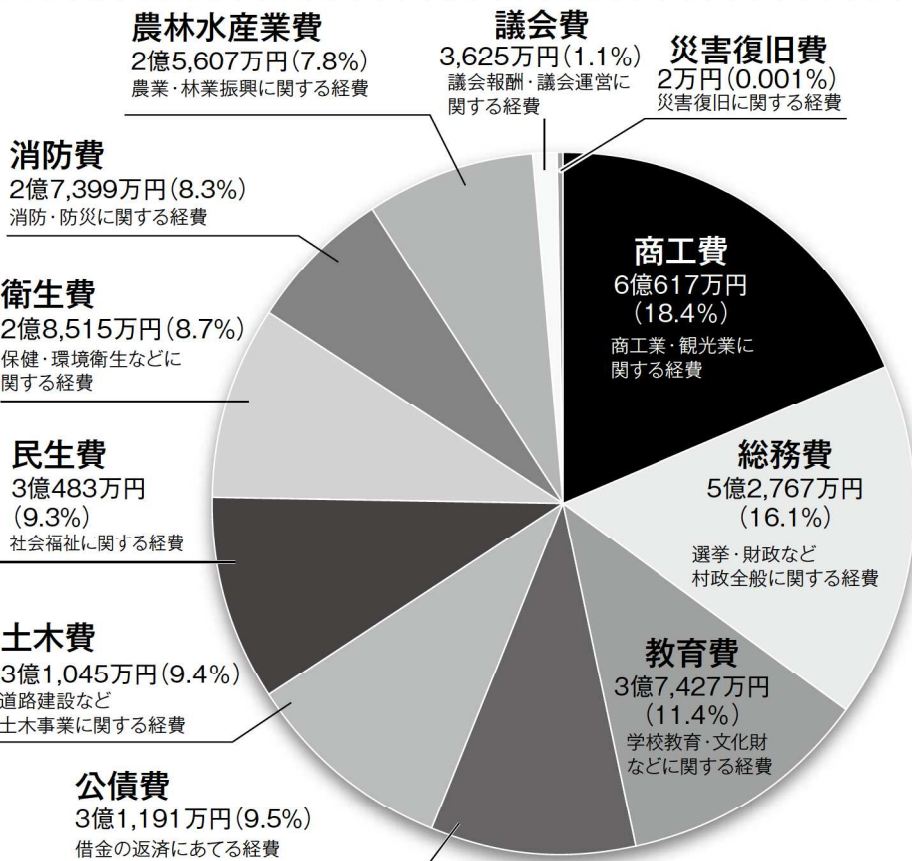
◆村民1人あたりの一般会計金額は(平成28年4月1日現在の人口1,660人で算出しています。)

支出額	1,979,981円(対前年度比 46,650円増)
基金	1,817,943円(対前年度比 66,171円増)
地方債	1,959,262円(対前年度比 86,764円増)

総額32億8,677万円

一般会計

歳出



■財政力指数 0.319

自治体の財政の豊かさを表す指標です。基準値を1として、1に近いほど財政状況が良い(豊かである)といえる数値です。

■経常収支比率 69.3%

自治体が人件費や生活保護費、借金の返済など避けられない経費に村税や地方交付税などの特定の収入に対してどれだけ充てられているかを示す指標です。率が低ければ財政的に余裕があり、独自の政策のための経費により多くのお金を回すことが可能となります。

※%の数字は構成比です

コミュニティ・スクール 白川郷学園 コミスクだより

動きだそう！白川びととして
担い手となる子どもたち 担い手を育てる大人たち

白川郷学園学校運営協議会

9/10 白川郷学園体育大会開催

清々しい青空の下、両団長4名の迫力ある選手宣誓によって開会された体育大会。

子ども達の頑張る姿への熱い声援は、昨年以上に多く感じられ、地域と学校のつながりがより深まっていることを実感できました。



社会教育委員会が企画した地域種目「ふれあいあくしゅ会」では、会場の多くの方々が参加してくださいました。握手をしながらお互いに自己紹介をする姿を見て、地区を越えた大人と子どものつながりの一歩を感じました。また、大人同士でも地区が違うことで初対面の方もあり、新しいつながりが出来たようにも感じました。



地域の方のために準備されたテントの中からは、子ども達への大きな声援や拍手がずっと聞こえていました。途中、冷たいお茶を配ってくれる子ども達に「ありがとう。がんばってね」と温かい言葉をかける姿も見られ、子ども達はとても嬉しそうでした。



会場のみinnで踊る「こだいじん」は、1学期に地域の方から踊りを習ったり、夏休みのラジオ体操後に練習する地区もあったりしたことで、みんな上手に踊ることができました。踊り終えた後地域の方から声をかけてもらっている子ども達の姿を見て、地域の方と共に練習を重ねてきたことの良さを感じました。

白川びとから学ぶ ～知恵や技、伝統や文化を子どもたちに伝えよう～

9/28 「白川八幡宮神職 神田将成さん」から学ぶ

子ども達の多くは「どぶろく祭り」は知っていますが、春祭りや秋祭りがあること、お祭りにはそれぞれ意味があることなど、今日初めて知ることがたくさんあったようです。神田さんは「大切なことは平利で幸せに暮らせる事に感謝をすることです」また「みなさんにはお祭りの練習を通して仲間や地域の方とのつながりを深めて欲しいです」とお話ししてくださいました。



9/30 「白川村消防団ラッパ隊」の方々から学ぶ



昨年度に続き、今年度も白川村消防団ラッパ隊の方々に来て頂きました。演奏を聴かせてもらうだけではなく、オーケストラ等で使うトランペットとの違いなども教えてもらいました。また12曲程度ある曲には、それぞれ消防団員を動かす号令の意味を持っていることも教えてもらい、昼食の合図の曲までであることに子ども達は驚いていました。

9/30 「白川八幡宮杜氏 川田晋也さん」から学ぶ

地域の方から声をかけられ杜氏になることを決断した川田さん。その理由を「地域のために何か出来ないかと思い…」と話されました。白川八幡宮では毎年約5000%のどぶろくを仕込み、その管理などを任されているそうです。子ども達からは、「いつも明るい川田さんしか知りませんでした。地域のために活躍していることを知り尊敬しました。」とありました。

